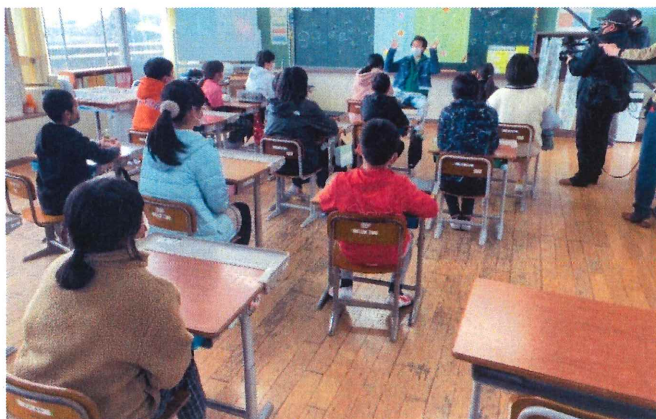


『さっきゃま魂』

R5. 2.28 第16号

発行人：校長 中山 末永

来年も会える！？



2月24日(金) 今年度最後の授業参観・学級懇談会には、多数の保護者の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。また、急遽決まった「前川清さん訪問」にもご協力いただき、とても心に残る1日となりました。

学校での撮影が始まったのは12時。テレビ局の音声担当の方からピンマイクを付けてもらい、私の緊張もどんどん高まっていきました。撮影の大まかな流れは聞いていましたが、「すべては、前川さんにお任せ」ということで、本当に予想もつかない出来事ばかりでした。

そのような中、子ども達との交流の合間に、少しだけ前川さんと話をする機会がありました。

「子ども達の目がいいよね！ ずっと僕の方を見てたよ。」

前川さんは、「僕に会いたいという子どもが、本当にいるんだろうか？」という思いも持ちながら本校を訪れたそうです。そんな前川さんに対して、子ども達は、本当に嬉しそうに話をし、前川さんの話を楽しそうに聞いていました。詳しい話の内容は、放送日まで言えませんが、前川さんとの交流を通して、心が通じ合う場面がたくさんあったのだと思います。

コンサート中には、「また、来年も来ます！」という思いがけない言葉を聞くことができ、驚きと同時に、「崎山の良さ」が前川さんにも通じたんだと嬉しく思いました。

4時に見送りをし、夢のような時間が過ぎてしまいました。長かったような、短かったような不思議な感覚でしたが、このような機会ができたことに、とても満足しています。

今週から、校長室前のカウントダウンボードは、「前川清さんに会えるまで」から「卒業式まで」に変わりました。

いよいよゴールが間近に迫ってきています。すばらしいゴールとなるよう、しっかり準備を進めていきますので、どうぞよろしくをお願いします。



暖かい日差しの中で・・・

朝夕の寒さはありますが、少しずつ春の暖かさを感じることができるようになってきました。昼休みになると、いつも、運動場から楽しそうな話し声や大きな笑い声が校長室まで聞こえてきます。普段は、高学年を中心にサッカーをしている子どもが目立っていますが、月曜日は、低学年も一緒になって鬼ごっこを楽しみました。

最初は、少人数で始まった鬼ごっこですが、「ぼくもやっついでいい！」といいながら、どんどん遊び仲間が増えていきました。最終的には、1年生から5年生までの子ども達が入り交じって、昼休みを思う存分楽しんでいました。

いつもは、6年生が目立っている運動場ですが、最近は、卒業に向けての準備が忙しいのか、その姿を見ることもだんだん少なくなってきました。これまで、いろんな場面で大活躍してくれた6年生と過ごす時間も、本当に残りわずかになってきました。「限られた時間を、どのように使っていくのか。」私自身も、卒業式に向けてできることに全力で取り組んでいきたいと思ひます。